



Newspaper in Education

## 本県が発案



全国への普及拡大が進んでいる「介護マーク」

### 介護マークを導入した都道府県

(予定を含む)

- ▼全域 茨城、栃木、新潟、長野、静岡、島根
- ▼市区町村で導入 北海道、岩手、山形、埼玉、千葉、東京、神奈川、富山、福井、山梨、愛知、滋賀、京都、兵庫、和歌山、岡山、広島、山口、福岡、長崎、宮崎、沖縄

## 介護マーク

# 全国347自治体に広がる

認知症患者を介護する人のために県が発案し、2011年度から配布を始めた「介護マーク」が全国に広がっている。19日までの県のまとめで、マークの活用に乗出した自治体は28都道府県の347市区町村に上る。

介護マークは、認知症の人の家族らが外出先のトイレの付き添いや買い物などで、誤解や偏見を受けないよう作製した。本県以外にも茨城、栃木、新潟、長野、島根の5県が県を挙げて普及に取り組んでいる。県長寿政策課は「マークが認知症介護に対する優しい社会づくりに役立つ」と話す。

静岡県内では11年4月、12年12月に1万1753枚を配布。事業に賛同する県内の民間普及協力事業所の指定は591事業所（13年1月末）に上り、普及に役買っている。11年12月に県が行った厚生労働省への要望後、全国の自治体からマークの利用希望が相次ぎ、今年19日までに全県導入している5県（196市町村）以外にも、導入市区町村名は県長寿政策課のホームページに掲載している。

県民は回答者の半数を超え、昨年より周知度が上がった。女性に比べ男性への周知度が低いのが課題という。本県のように普及協力事業所を指定しているのは茨城、長野の2県のみで、県福祉長寿局の大石玲子局長は「若葉マーク」のように全国一律に広げたい。導入で終わりではなく、配布枚数を増やすため、民間との連携を強化してほしい」と期待している。

## 民間との連携強化鍵

① 左のマークは、何というマークですか。

② このマークは、だれのために作りましたか。

③ これは静岡県が作ったマークですが、日本中に広がっています。今、いくつかの都道府県で活用されていますか。

2013年2月20日朝刊 二社

④ 学校で使えるマークを考えて見ましょう。

年 組 名前

(小学校中学年以上 社会、総合、図画工作)